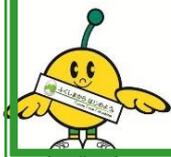


チャレンジ 福島

応援隊通信



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.

平成 30 年 2 月 vol.9

東日本大震災・原子力災害からの風評払拭・風化防止を図るため、全国各地の福島県人会の皆さんと連携して「ふくしまの今」を県外の方々に情報発信する「チャレンジふくしま応援隊」情報発信事業について、平成 29 年度は 13 県人会の御協力により実施してきました。

「応援隊通信」では、各地の福島県人会の活動状況をピックアップして紹介します。

応援隊参加県人会の現地研修会

「応援隊」として活動いただく県人会の皆さんに、本県の現状を見て、復興状況などへの理解を深めていただくため、平成 29 年 7 月 6 日から 7 日にかけて、福島県内で現地研修会を実施しました。

今年度の現地研修会は、三春町、郡山市などの各施設を視察する内容で、13 県人会 17 名にご参加いただきました。

初日は、初めに平成 28 年 7 月にオープンした「コミュタン福島」（県環境創造センター交流棟）（三春町）を訪問しました。事故後の福島第一原発の模型を見ながら案内スタッフの説明を聴いて事故を振り返るとともに、放射線について学ぶコーナーや環境創造シアターなどを視察しました。



（コミュタン福島）

次に、県動物愛護センター（三春町）を訪問し、動物愛護管理業務の概要や震災当時の展示パネルを見ながら被災ペットの救護の状況等についての説明を聴きました。

その後、若松屋旅館（三春町）で行われた意見交換会で、各県人会の活動状況の報告と情報交換を行いました。



（動物愛護センター）

2 日目は、県農業総合センター（郡山市）を訪問し、農林水産物のモニタリング検査等の状況について説明を受けた後、放射線を測定する様子を見学しました。



（農業総合センター）

参加者からは「環境創造シアターの迫力に見入った。」「放射線モニタリングの実際の検査を見学して、安全性を確認できた。」などの感想が寄せられました。

埼玉・福島県友会 「久喜市民まつり」

今年度から「応援隊」事業を受託した埼玉・福島県友会では、平成29年10月15日、「久喜市民まつり」に出店し、福島県産リンゴの試食や県産品の販売、観光のPR、応援隊アンケート調査などを行いました。

当日は朝からあいにくの雨模様で、人出や売れ行きが心配されましたが、リンゴは午前中に、他の商品も閉店前に完売しました。



西東京市福島県人会 講演会「福島をいまを考える —保科正之に学ぶ復興行政」

西東京市福島県人会では、平成29年8月20日、会津に関係する歴史小説などを発表している同市在住の直木賞作家中村彰彦氏を講師に招き、講演会を開きました。

近隣の福島県人会や社会福祉協議会の協力を得たほか、西東京市及び同教育委員会の後援を受け、着実に準備を進めました。

当日は、市長、教育長等を来賓に迎え、神奈川県や埼玉県からの来場者も含め、200名が集まり、大盛況でした。



ひろしま福島県人会 全国男子駅伝 「駅伝ふるさとひろば」

ひろしま福島県人会では、平成30年1月21日、広島平和記念公園をスタート、ゴールとして行われた全国男子駅伝の「駅伝ふるさとひろば」において、喜多方ラーメンなどの県産品の販売、観光PR及びアンケート調査を行いました。ブース前では、白虎隊、娘子隊の仮装によるPRも行われ、一緒に記念写真を撮るお客さんで賑わいました。



福島県チームは9位で、8位入賞まであと一歩でしたが、一時は2位争いを演じるなど、福島の元気な姿を全国にPRすることができました。

閉会式後、メルパルク広島において、県人会による県選手団の歓迎会を行い、選手を労いました。

今後も、各地の県人会の皆さんの活動を紹介します。よろしくお願いします。

【編集・発行】

福島県 県民広聴室

TEL : 024-521-7013

Eメール : koucho@pref.fukushima.lg.jp

